

2019年度 カリキュラム科目概要



文化服装学院教務部

科コード	23501	科 名	Ⅱ部ファッション流通科1年	単 位	2単位
科目コード	606310	科目名	接客応対スキルⅠ	授業期間	1～3月

担当教員(代表)：小林章子	共同担当者：
---------------	--------

概要(教育目標・レベル設定など)

- ・販売員の重要性、必要性を理解する
- ・接客販売の流れとそのポイントを理解する
- ・販売としての基本的な立ち振る舞い、また接客の楽しさ、難しさをロールプレイングを通して学ぶ

授業概要＝テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、
テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

1.オリエンテーション

- ・販売員として購買心理を理解しお客さまの声をすることは、企画側にとっても大切な視点であることを知る

2.コミュニケーションスキルの向上

- ・第一印象の重要性とポイント(表情、声のトーン、身だしなみ)

3.販売員の基本マナー

- ・姿勢、言葉遣い、お辞儀、接客8大用語

4.接客販売の基本とテクニック

- ・お客さまの購買心理と販売員のアクション
- ・商売の取り扱い方の基本
- ・待機姿勢、迎入れ、ファーストアプローチ、情報収集、商品提案、レジ対応とお見送り等、講義とロールプレイングで学ぶ

5.販売員の役割と重要性

- ・優秀販売員の接客から、販売員の役割と必要性を考える
- ・販売員の重要性、良い販売員とは何かについて考える

評価方法・対象・比重

①S～C・F評価

評価基準 学業評価50%：ロールプレイング、レポート、ファイル管理

授業姿勢50%：出席状況、授業に対する参加度による総合評価、

主要教材図書 なし

参考図書 なし

その他資料 なし

授業の特徴と担当教員紹介

アパレル企業にてレディスブランドの接客販売、マネジメント、店舗運営、VMDの指示などの業務経験をもとに、ファッション業界で必要とされる接客販売の重要性・必要性・コミュニケーションスキル・マナー・テクニックをロールプレイング形式で学ぶ実践指導を実施。課題点などを捉え、改善につなげるプロセスも身に付ける

記載者氏名 小林章子

2019年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 23501	Ⅱ部ファッション流通科 1年	単 位	2単位
科目コード 504410	コンピュータ・スキルⅠ	授業期間	(半期)

担当教員(代表)：西村元良	共同担当者：
---------------	--------

概要（教育目標・レベル設定など 200 字程度）（職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します）

ファッションデザインの表現ツールとして、パーソナルコンピュータ及び、グラフィック・ビジネスソフトを使う能力を身につけると同時に、ファッションビジネス、ファッション販売に必要となるパソコンの技術について学ぶ。各自のデザイン能力の向上を目指す。レベル設定：

基本操作

- ドロー系ソフト/Illustrator の基礎とペイント系ソフト/Photoshop の基礎
- ビジネスソフト/Excel・PowerPoint の基礎

コマ	内 容	コマ	内 容
1	関連授業 レポート課題のビジュアル化 1-1	8	Illustrator & Photoshop エディトリアルデザイン 2-2
2	関連授業 レポート課題のビジュアル化 1-2	9	Illustrator & Photoshop エディトリアルデザイン 2-3
3	関連授業 レポート課題のビジュアル化 1-3	10	Illustrator & Photoshop エディトリアルデザイン 2-4
4	関連授業 レポート課題のビジュアル化 1-4	11	ビジネスソフトの基本操作 3-1
5	関連授業 レポート課題のビジュアル化 1-5	12	ビジネスソフトの基本操作 3-2
6	関連授業 レポート課題のビジュアル化 1-6	13	ビジネスソフトの基本操作 3-3
7	Illustrator & Photoshop エディトリアルデザイン 2-1	14	ビジネスソフトの基本操作 3-4

評価方法・対象・比重
課題制作物（40%）、出欠日数（40%）授業態度（20%）の比重で行う

主要教材図書	事前に準備したレジメの配布資料
参考図書	
その他資料	筆記用具、USB2.0 フラッシュメモリ 2.0 G 以上（推奨）、ファイルホルダー A4 サイズ

授業の特徴と担当教員紹介

コンピュータープログラマー、CG デザイナーとして様々なデザインを手掛けてきた活動経験をもとに、ファッションデザインの表現ツールとして、パーソナルコンピュータ及び、グラフィック・ビジネスソフトの技術を身につけると同時に、ファッションビジネス、ファッション販売に必要となるパソコンの技術について学びデザイン能力の向上を目指す

記載者氏名 西村元良

2019年度 カリキュラム科目概要



文化服装学院教務部

科コード	23501	科 名	Ⅱ部ファッション流通科1年	単 位	3単位
科目コード	502610	科目名	ファッション・カラーⅠ	授業期間	14回

担当教員(代表)：大串 由美子	共同担当者：
-----------------	--------

概要（教育目標・レベル設定など）

ファッション流通の色彩に関する基礎的な技術や知識を、演習を中心に行いながら習得する。
ファッション色彩能力検定3級に対応。

授業概要＝テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、
テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

- | | | |
|---|---|--------------|
| 1. 導入 | 色について | |
| 2. 色の三属性 | 色の三属性(色相・明度・彩度)
等色相面/色立体
Hue & Tone システム | 〈講義および演習3コマ〉 |
| 3. 配色の基礎 | 色相を基準とした配色
トーンを基準とした配色 | 〈講義および演習3コマ〉 |
| 4. ファッションカラーコーディネート | グラデーション配色
マルチカラー配色・コントラスト配色
セパレーションカラー、アクセントカラー | 〈講義および演習2コマ〉 |
| 5. 色彩構成の基礎 | シンメトリー/アシンメトリー
レピテーション/グラデーション | 〈講義および演習2コマ〉 |
| 6. パーソナルカラー | 似合う色の使い方
デモンストレーション | 〈講義および演習2コマ〉 |
| 7. 色彩の理論(テキスト『ファッション色彩Ⅰ』に沿った、ファッション色彩能力検定試験3級に対応する学習) | 1章「概論－色彩のはたらき」/2章「色彩の体系」/3章「色彩理論－基礎」
4章「色彩の技術」/5章「ファッション産業と色彩」 | 〈講義2コマ〉 |

その他：演習に該当する家庭実習有り。

評価方法・対象・比重

S～C・F評価 評価基準：学業評価50% 授業姿勢50%

主要教材図書 『ファッション色彩Ⅰ』
『ファッション色彩能力検定試験3級問題集』(文化出版局)

参考図書 なし

その他資料 ベーシックカラー140B5版、カラーチャート

授業の特徴と担当教員紹介

化粧品会社でカラーリストの経歴を持ち、オーダーメイド化粧品のカウンセリング、調色、カラー商品企画などの経験をもとに、基礎的な技術や知識を演習を中心に授業を実施

記載者氏名 大串 由美子

2019年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 23501	科 名 II部ファッション流通1年	単 位	1単位
科目コード 980010	科目名 特別講義 I	授業期間	後期

担当教員(代表)：薫森三義	共同担当者：
---------------	--------

概要（教育目標・レベル設定など200字程度）（職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します）
 現役のファッション業界人を講師として招き、ファッション業界の現状を知ること为目标とする。

コマ	内 容		
1	ファッション販売の世界	株式会社バーニーズジャパン 遠藤宏明	講義 1コマ
2	プレス業務について	BEAMS CREATIVE 安武俊宏	講義 1コマ
3	WEBビジネスの現状	株式会社 TONINE 増田智士	講義 1コマ
4	SNS 運用の現状	f.f.b.株式会社 山本麗	講義 1コマ
5	バイヤー業務について	株式会社デイトナインターナショナル	講義 1コマ
6	WEB×ファッション×ビジネス	シタテル株式会	講義 1コマ
7	社会人に必要なマナー ～面接対策～	東條文千代	講義 1コマ
8			
9			
10			

評価方法・対象・比重 履修認定（P表示） 評価基準：学業姿勢・出欠状況を基に、履修認定の是非を決定する
--

主要教材図書 なし
参考図書 なし
その他資料 なし

授業の特徴と担当教員紹介 ファッション販売、プレス、Web ビジネス、バイヤーなど様々な業界で活躍する方々より、現場で働く現状などの講義を受ける授業を実施
--

記載者氏名 薫森三義

2019年度 カリキュラム科目概要



文化服装学院教務部

科コード 23502	Ⅱ部ファッション流通科 2年	単 位	1単位
科目コード 504420	コンピュータ・スキルⅡ	授業期間	(半期)

担当教員(代表)：西村元良	共同担当者：
---------------	--------

概要（教育目標・レベル設定など 200 字程度）（職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します）

ファッションデザインの表現ツールとして、パーソナルコンピュータ及び、グラフィック・ビジネスソフトを使う能力を身につけると同時に、ファッションビジネス、ファッション販売に必要となるパソコンの技術について学ぶ。各自のデザイン能力の向上を目指す。レベル設定：

応用操作

- ドロー系ソフト/Illustrator の基礎とペイント系ソフト/Photoshop の応用
- ビジネスソフト/Excel・PowerPoint

コマ	内 容
1	実用的グラフィック操作エディトリアルデザイン応用1-1
2	実用的グラフィック操作エディトリアルデザイン応用1-2
3	実用的グラフィック操作エディトリアルデザイン応用1-3
4	実用的グラフィック操作エディトリアルデザイン応用1-4
5	実用的グラフィック操作エディトリアルデザイン応用1-5
6	実用的グラフィック操作エディトリアルデザイン応用1-6
7	実用的グラフィック操作エディトリアルデザイン応用1-7

評価方法・対象・比重 課題制作物（40%）、出欠日数（40%）授業態度（20%）の比重で行う

主要教材図書	事前に準備したレジメの配布資料
参考図書	
その他資料	筆記用具、USB2.0 フラッシュメモリ 2.0 G 以上（推奨）、ファイルホルダー A 4 サイズ

授業の特徴と担当教員紹介

コンピュータープログラマー、CG デザイナーとして様々なデザインを手掛けてきた活動経験をもとに、ファッションデザインの表現ツールとして、パーソナルコンピュータ及び、グラフィック・ビジネスソフトの技術を身につけると同時に、ファッションビジネス、ファッション販売に必要となるパソコンの応用技術について学びデザイン能力の向上を目指す

記載者氏名 西村元良

2019年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 23502	科 名 II部ファッション流通科2年	単 位	3
科目コード 606320	科目名 接客対応スキルII	授業期間	9～1月

担当教員(代表)：山神 孝治

共同担当者：

科目概要（教育目標・レベル設定など。200字以内で記入してください。HP等に引用し、公開します。）

- ・販売員としての役割を理解し、マナー、基本知識と技術、コミュニケーション能力を磨く
- ・お直し対応、クレーム対応など、状況に応じて必要になる専門知識、技術を習得する
- ・顧客作りの意識を持った対応を意識付け、即戦力となる販売員育成を行う

1. オリエンテーション・自己紹介
2. 1年次復習（動的待機～アプローチ～セールストーク）
3. ファッション小物の使い方（ネクタイ、スカーフ、ストールなど）
4. フィッティング
（商品の見せ方、羽織らせ方、鏡の使い方、フィッティングルームへの誘導）
5. クロージング
6. 金銭授受（現金・カード）
7. お見送り
8. お直し対応（パンツ、ジャケット）
9. タイプ別・状況別対応
（お客様のタイプによるアプローチ、複数接客、スタッフ同士の連携）
10. クレーム対応
11. 顧客作り（顧客管理、再来店につなげるアプローチ、サンキューレター）
12. 試験（ロールプレイング形式）
13. プレゼン（イチオシ商品、コーディネート提案）

評価方法・対象・比重

出席状況・授業に対する参加度・ロールプレイングによる実技試験による総合評価

主要教材図書

参考図書

その他資料

授業の特徴と担当教員紹介

アパレルで販売員、人材育成、ビジュアルマーチャンダイジング、在庫管理などの業務経験をもとに、販売員としての役割を理解し、マナー、基本知識、技術、コミュニケーション能力をロールプレイング形式で受ける授業を実施

記載者氏名 山神 孝治

2019年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 23502	科 名 II部ファッション流通科2年	単 位	3単位
科目コード 502620	科目名 ファッション・カラーⅡ	授業期間	14回

担当教員(代表): 桑野 恵美

共同担当者:

概要(教育目標・レベル設定など200字程度)(職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します)

ファッション業界における色彩実務について具体的に理解し、色彩の専門的な知識を応用、活用する方法を学ぶ。
ファッション色彩能力検定2級に対応。

1. 色彩理論(光・視覚・心理) 光と色/色覚のしくみ/色彩心理(視認性、誘目性、色のイメージ)
〈講義および演習2コマ〉
2. 色彩体系(色名とカラーシステム) 色名/三属性による色の表示/色見本とカラーコード
〈講義および演習2コマ〉
3. 配色と色彩調和 流行配色(コンプレックス、トーンオントーン、カマイユ/フォカマイユ、トーンイントーン、トータル、ピコ・トリコロール)
調和の技術
(ドミナント、コントラスト、ナチュラルシーケンス)
色彩調和論(ゲーテ、シュヴルール、マンセル、オストワルト、
イッテン、ムーン&スペンサー、ジャッド)
〈講義および演習5コマ〉
4. ファッション産業における色彩計画 情報としての色彩(商品企画における色彩計画、ファッションイメージと色、移調)/生産段階における色彩計画(色彩管理)/販売における色彩計画(VMD、パーソナルカラー)
〈講義および演習5コマ〉

その他: 演習に該当する家庭実習有り。

評価方法・対象・比重

S~C・F評価 評価基準: 学業評価50% 授業姿勢50%

主要教材図書 『ファッション色彩Ⅱ』
『ファッション色彩能力検定試験2級問題集』(文化出版局)

参考図書

その他資料 ベーシックカラー140B5版、カラーチャート(1年次使用)

授業の特徴と担当教員紹介

ファッション・アパレルにおける色彩活用を中心に、商品企画・店舗VMDなどの活動経験をもとに、ファッション業界における色彩実務についての専門的な知識や活用方法の授業を実施

記載者氏名 桑野 恵美

2019年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	23502	科 名	Ⅱ部ファッション流通科2年	単 位	2単位
科目コード	605600	科目名	ビジュアルマーチャンダイジング	授業期間	前期

担当教員(代表)：秋山裕美

共同担当者：

概要（教育目標・レベル設定など200字程度）（職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します）

店作りの制作 VMD を理解する
ディスプレイのテクニックをグループ演習を通して理解する

コマ	内 容	
1	VMD、ディスプレイ概論 講義	VMD の目的、役割
2		VMD を理解する為に必要な知識
3	VMD マップ基礎 作品提出1	平面什器レイアウト 什器の種類とサイズ
4		平面図に什器をレイアウトする 導線、什器間の間隔など
5		VP/PP/IP
6	プロモーションプランニング	フェア、イベントの プロモーションを
7		VPで行う目的と効果 デザイン画の表現
8	テクニック演習 講義とグループ演習	マネキン、トルソーの種類、特鋼 フォーミング、ウェアリング演習
9		マネキン、トルソーを使った演習 置く
10		吊る ピンナップ
11		ピンワーク
12	VPディスプレイプランニング 作品提出2	プランニングをする VP デザイン画
13	VP ディスプレイ	
14	ディスプレイレポート 作品提出3	まとめ レポート

評価方法・対象・比重

出席状況50% 作品の理解度50%

主要教材図書	ディスプレイ, VP, VMD (文化出版)
参考図書	INSPIRATION (海外ディスプレイ紹介写真集)
その他資料	マネキンのカタログ 雑誌(ファッション、インテリア系)

授業の特徴と担当教員紹介

ディスプレイデザイナーとして百貨店、量販店、スポーツショップ、ジュエリーショップ、菓子店、シューズショップ、サービスエリアなど様々な店舗のビジュアルマーチャンダイジングを手掛けた講師より店づくりの制作やビジュアルマーチャンダイジングを理解、ディスプレイのテクニックを演習をとおして理解する授業を実施。

記載者氏名 秋山裕美

2019年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 23502	科 名 II部ファッション流通科2年	単 位	1単位
科目コード 980020	科目名 特別講義II	授業期間	通年

担当教員(代表): 澤谷 目童	共同担当者:
-----------------	--------

概要(教育目標・レベル設定など200字程度)(職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します)

ファッションビジネスおよびファッション販売に関連した卒業制作につながる最先端の業界のリアルを講義や演習によって学ぶ。

授業概要＝テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、
テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先、

- ・アパレル企業の現状と就職対策 (講義 2コマ)
株式会社上野商会 代表 竹下 昌克
- ・就職活動のための準備と心構え (講義 1コマ)
株式会社B 代表取締役 森 薫子
- ・ブランドづくりと運営方法 応用編 (講義 2コマ)
株式会社 TO NINE 代表取締役社長 増田 智士
- ・インターネットを活用した国内縫製企業連携 (講義 2コマ)
株式会社sitateru 代表取締役社長 河野 秀和
- ・社会人としての心得とマナー (講義 1コマ)
株式会社B 代表取締役 森 薫子
- ・トレンド解説 (講義 1コマ)
澤住 倫子

評価方法・対象・比重

出席率 90% 学習態度 10%

主要教材図書

参考図書

その他資料

授業の特徴と担当教員紹介

ファッション販売、プレス、Web ビジネス、バイヤーなど様々な業界で活躍する方々より、現場で働く現状などの講義を受ける授業を実施

記載者氏名 澤谷 目童